



第4回まつもと子ども未来委員会の報告

平成 28 年 6 月 17 日

第2期の第4回目まつもと子ども未来委員会は、平成28年6月12日（日）大手公民館で行いました。この日は、35人の委員のうち、小学校5年生から高校3年生までの14人の委員が出席しました。進行は、副委員長にお願いしました。

1 「まちをきれいにすることについて」学習・意見交換

この日は、「まちをきれいにすることについて」松本市^{かんきょうせいさく}環境政策課の担当者さんにお話をしてもらいました。

まず、松本市が目指す姿として「清い水、深いみどりと青い空」という合言葉があり、これを実現するために、市では、「地球にやさしく」「資源を大切に」「安心・安全な暮らし」「自然の恵み」「心地よいまち」の5つの柱を大事にしているそうです。今回は、特に「地球にやさしく」と「資源を大切に」のことをくわしく聞きました。



「地球にやさしく」については、電気の使い過ぎなどにより地球温暖化が進むと異常気象などの悪い影響があることを教わりました。これを防ぐために、市では、太陽光発電の補助^{ほしよ}や、みどりのカーテンの設置^{せっち}などに取り組んでいるそうです。また、エアコンを使うと自分は涼しいけど周りは暑くなってしまうので、自然の風で涼めばわたしたちでも「地球にやさしく」できることを教えてもらいました。

次に、「資源を大切に」については、ごみを減らすための3つのR、①Reduce^{リデュース}（ごみを減らす）、②Reuse^{リユース}（くり返し使う）、③Recycle^{リサイクル}（新しく生まれかわる）を教わりました。①Reduce について、日本では食品ロス（食べ残し）が年間 642 万トンも出てい



て、松本市でも、生ごみの約3割は、食べられるのに捨てられているそうです。食品ロスを減らすと、ごみ処理で出る二酸化炭素を出さずに済むなど、良いことがあるので、市では、食品ロスを減らすために、余った食べ物を回収して、困っている人に配る「フードドライブ」に協力したり、30・^{さんまる}

いちまる

10運動をしたりしているそうです。また、②Reuse については、着なくなった子ども服を回収して、必要な人に配っていること、③Recycle については、紙をいつでも回収できるコンテナを設置していることを教わりました。

ほかにも、「安心・安全な暮らし」について、公害対策に、空気の調査をしていることや、6月が環境月間であること、「自然の恵み」について、アレチウリなどの外来生物が増えていること、「心地よいまち」については、「花いっぱい運動」が松本市から始まったことなどを教えてもらいました。



続いて、今回のお話をもとに、グループごと意見交換をしました。

	みんなからの主な意見など
松本の環境のいいところ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ けむりがすくない、空気がきれい ◆ 都会にくらべてすずしい ◆ 水がきれい ◆ 緑が多い ◆ いろいろな運動をして町をきれいにしている ◆ ごみをきちんと処理している
松本の環境のよくないところ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 市街地が山にくらべて暑い ◆ 川にごみが多い ◆ 公共交通機関を利用しないので、国道のじゅう帯<small>たい</small>が多い ◆ のやきの煙が多い <p>【環境政策課担当者さんからのコメント】</p> <p>市では空気中の煙の調査をしていて、確かに、野焼きをした後に調査すると、煙の量が増えますが、人の体に悪い影響はありません。また、野焼きは、害虫駆除<small>くじよ</small>や畑の土を良くするなどの目的があって、実は、畑にとって大事なことでもあります。</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">わたしたちのこどもたち</p>	<p>◆ ごみ拾い 【環境政策課担当者さんからのコメント】 自分のごみは持ち帰っても、人のごみは見て見ぬふりをしがちです。人のごみを拾うのは勇気がいるけれど、見ている人が必ずいて、同じようにやらなきゃと思ってくれます。そうやってごみ拾いの活動が広がるので、勇気をもって拾ってみてください。</p> <p>◆ ごみを持ち帰る 【環境政策課担当者さんからのコメント】 公園など公共施設のごみ箱は、最近減っています。これは、ごみを出さないという意識が高まっているからです。ごみを出さないようにするためには、物を買うとき、ごみになるときのことを考えるだけでも変わります。ビンなどは埋め立てごみといって、リサイクルできず、最終処分場^{さいしゅうしょぶんじょう}で埋め立てます。松本には、エコトピア山田という最終処分施設^{さいしゅうしょぶんしせつ}がありますが、あと10年でいっぱいになってしまうと言われています。最終処分施設に持っていくごみを減らして、今ある施設を長く使うことが大事です。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">大人にしてほしいこと</p>	<p>◆ 太陽光発電をもっと増やしてほしい 【環境政策課担当者さんのコメント】 松本市でも太陽光発電の設置補助をしています。申請件数はだんだん減ってきています。太陽光発電が広がって、みんな申請が終わっているからなのかもしれません。ちなみに、自然エネルギーは太陽光発電のほかにもバイオマス・地熱・風力・水力発電があります。</p>

最後に、エアコンなど便利なものはたくさんあるけれど、便利だからといって環境に良いわけではないこと、環境に良い取組みは、子ども・家族・学校・会社・市役所がみんな協力する必要がある。ので、できることから始めることが大切だと教えてくれました。

次回の委員会は、7月10日（日）午後1時30分から3時30分まで、あがたの森文化会館で行います。今回は、「松本のPRについて」の学習や意見交換をします。